

施工説明書

アレンジ調色専用コントローラ

品番：NQ28645K

本器の取り付けには電気工事士の資格が必要です。必ず専門業者の方が施工してください。

もくじ

安全上のご注意……………	2
施工上に関するお知らせ……	2
各部のなまえと付属部品…………	3
システム構成と接続台数……	3
配線方法……………	4
施工前のご確認……………	5
施工方法……………	5
教えて！Q&A……………	7
故障かな？と思ったら……	8

工事店様へのお願い

正しく施工するために必ずお読みください。

施工後、必ずお客様に商品説明をしていただき、取扱説明書と施工説明書をお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産への損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「障害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を、次の図表示で説明しています。



してはいけない内容です。

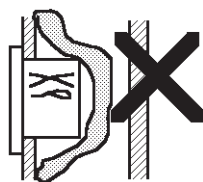


実行しなければならない内容です。

警告

- 断熱材（防音材等の断熱効果のあるものを含む）をかぶせた状態での施工はしない
火災のおそれがあります。

断熱材施工不可



- 本体の分解や改造、および修理をしない
火災、感電のおそれがあります。
- 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが発生する場所に取り付けない
火災、感電のおそれがあります。



禁止



必ず守る

- 施工は、施工説明書にしたがい確実にこなう
火災、感電のおそれがあります。
- 適合負荷を最大負荷容量または最大接続台数以下で使用する
火災、故障のおそれがあります。
- 説明書に記載された電線を使用し、被覆は本体裏のストリップゲージにあわせてむき電線穴に奥まで差し込む
指定外電線の使用や不十分な結線および電線の先が曲がっている場合は異常発熱、火災のおそれがあります。

施工上に関するお知らせ

- 本器は単相100V専用です。
- 誤動作の原因となるため、分電盤や制御盤に取付しないでください。
- 本器はアレンジ調色LED照明器具専用のコントローラです。
他起動方式や他社製の照明器具と接続することはできません。
- 取付にはJIS5コ用金属製スイッチボックスをご使用ください。
- 異なる品番のアレンジ調色LED照明器具を1回路内に接続しないでください。
(必ず1回路内の品番は1種類にしてください。)

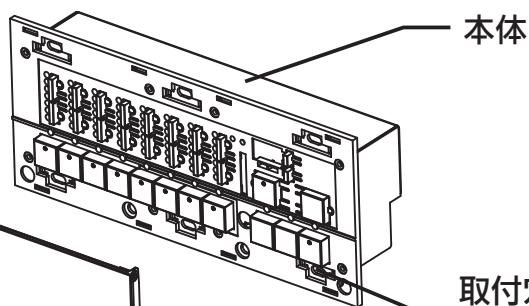
各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

本体付属品

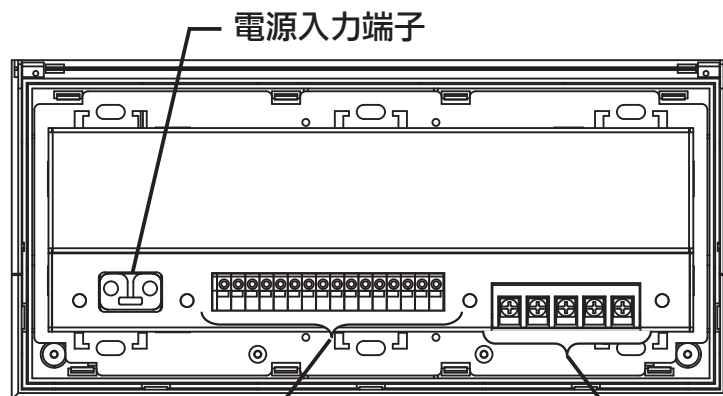
取扱説明書
施工説明書

化粧カバー



取付穴
(6カ所)

<裏面>



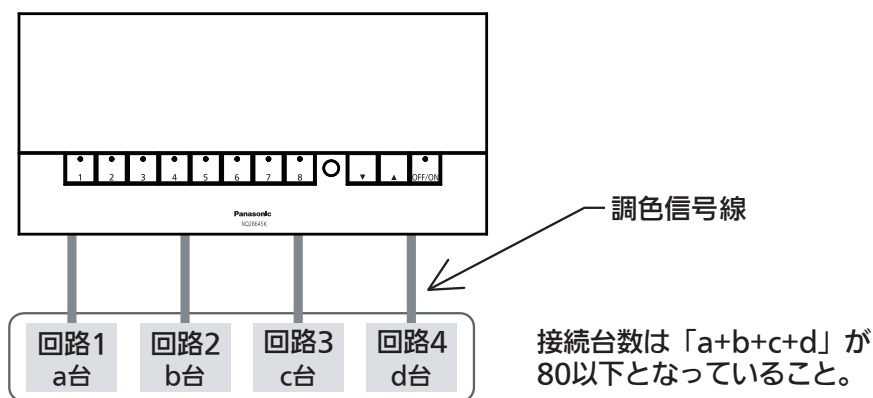
調色信号端子 回路1～4

※LK、HK 各1ペアで1回路分になります。

伝送信号端子

システム構成と接続台数

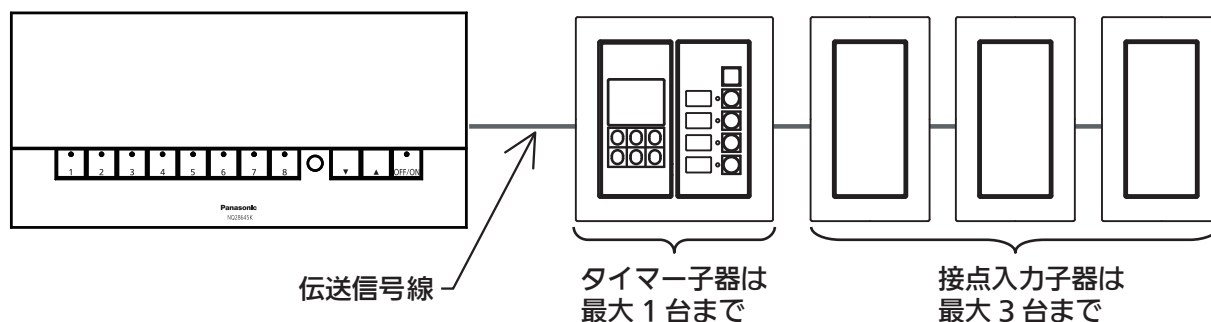
本器はアレンジ調色LED器具を全回路合計80台まで接続することができます。
(接続台数を増やすにはFSK91090 (別売) を追加してください。)



また、子器を増設することでシステムアップすることができます。

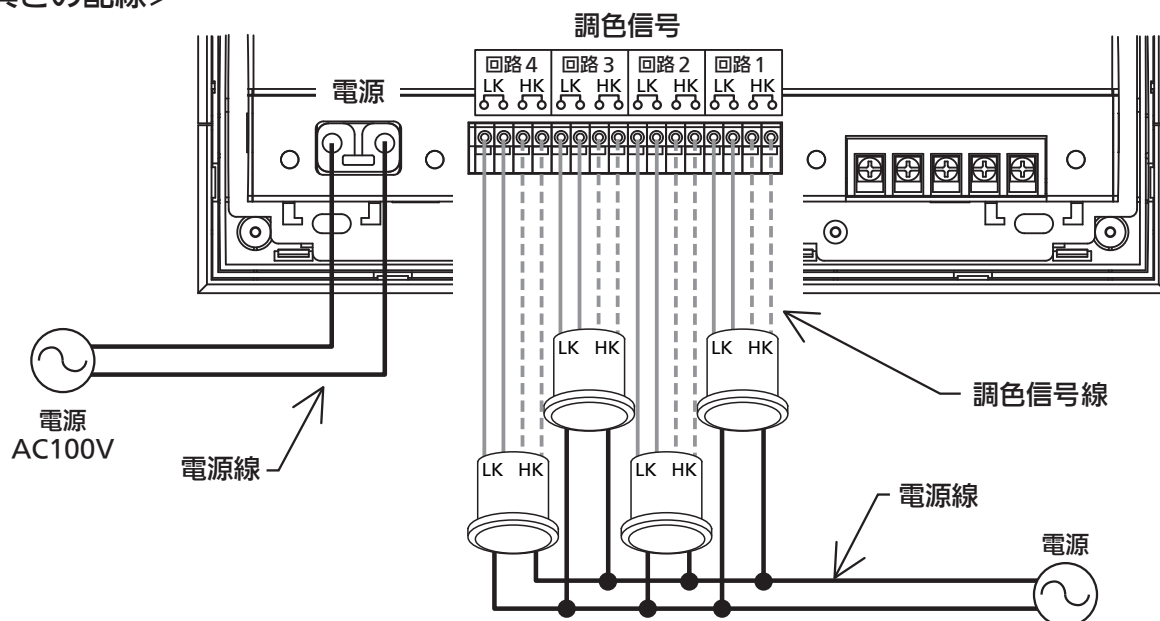
タイマー子器 (NQ28671) : 設定した時刻に合わせてシーンを自動的に再生することができます。

接点入力子器 (NK28892) : 外部機器からの無電圧a接点出力を受けて、シーンの再生することができます。



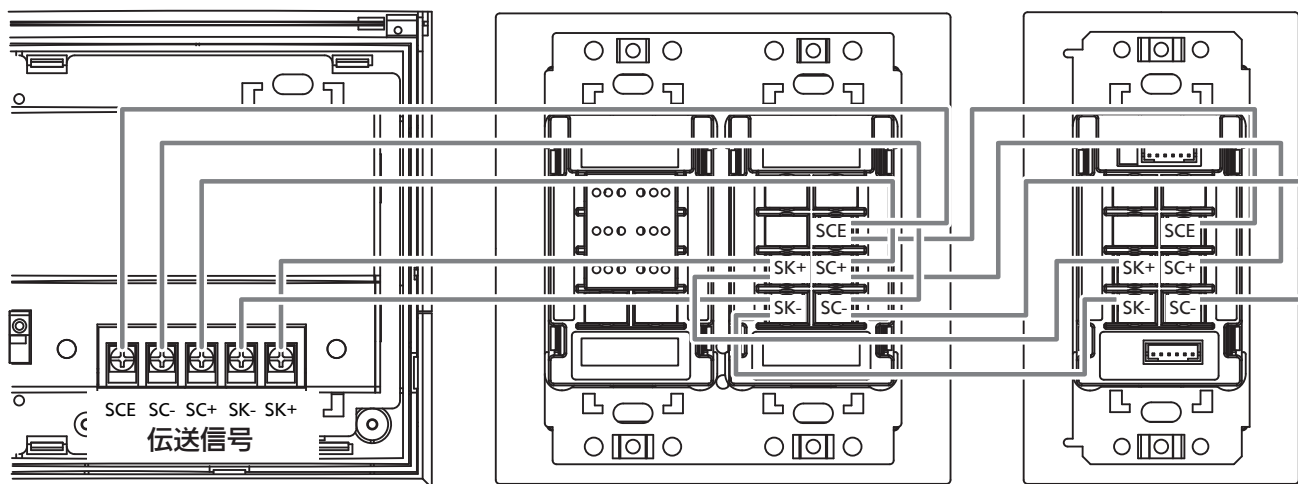
配線方法

<照明器具との配線>



- ・電源線はφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。
- ・本器と照明器具それぞれに電源が必要です。
(ブレーカ容量内でしたら本器と照明器具を同一電源から取っても問題ありません。)
- ・調色信号線にはEM-CPEE (CPEV相当) φ0.9またはφ1.2×1ペアをLK、HKそれぞれにご使用ください。
- ・調色信号線の1回路の総配線長は100m以下にしてください。

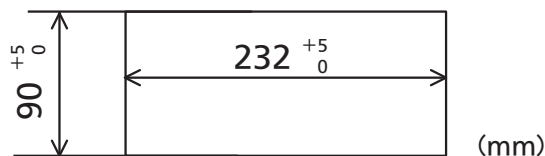
<子器との配線>



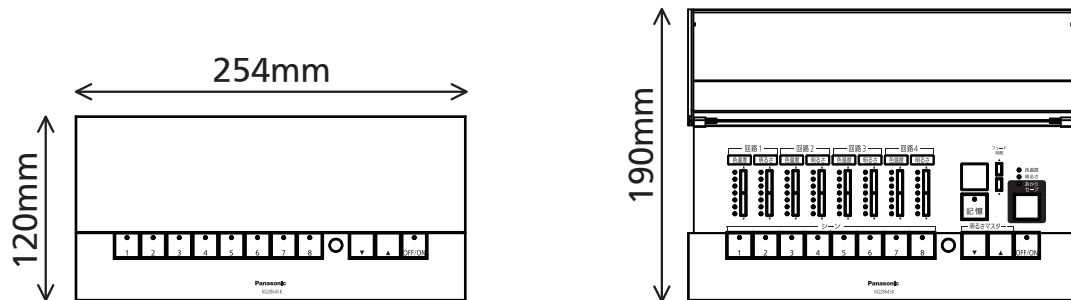
- ・伝送信号線にはEM-CPEE-S (CPEV-S相当) φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。
- ・伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
- ・伝送信号線は1台ずつ送り配線 (一筆書き配線) で接続してください。
(途中で分岐して接続することはできません。)
- ・タイマー子器1台、接点入力子器3台まで接続可能です。
- ・同じ端子記号同士を接続してください。

施工前のご確認

- 本器の取付にはJIS5コ用金属スイッチボックスを使用してください。
(はさみ金具は使用できません。)
- 開口穴は下記の寸法で空けてください。



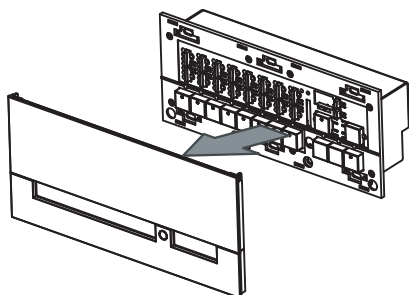
- 化粧カバーは上に開きますので本器の上に120mm以上のスペースを確保してください。



- 接続取付はできません。並べる場合は30mm以上間隔をあけてください。

施工方法

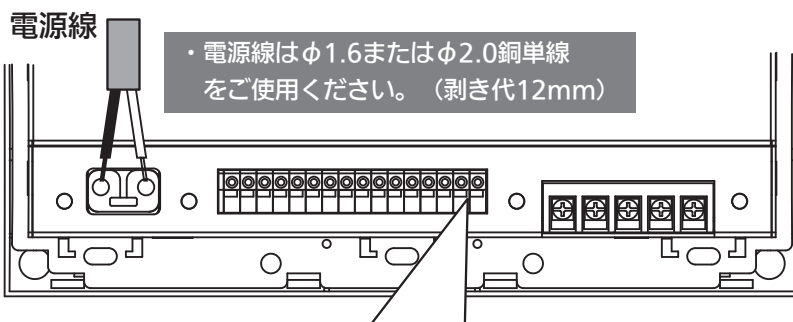
1 化粧カバーを外す



- ・化粧カバーの下部を持って手前引っ張ると外れます。
(カバーを開いて引っ張るとヒンジ部が壊れる場合があるので必ず下部を持って外してください。)

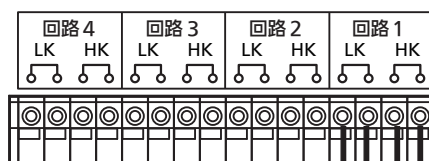
2 電源線と調色信号線を接続する

本体背面のストリップゲージにあわせて電線被覆をむいて接続してください。



- ・電源線はφ1.6またはφ2.0銅単線
をご使用ください。(剥き代12mm)

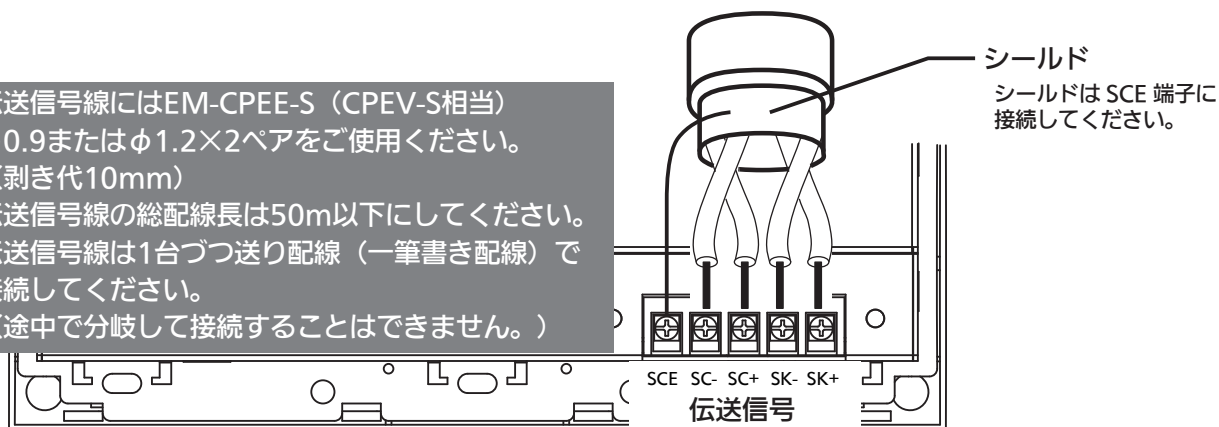
調色信号



- ・調色信号線にはEM-CPEE (CPEV相当) φ0.9またはφ1.2×1ペアをHK、LKそれぞれにご使用ください。(剥き代10mm)
- ・調色信号線の1回路の総配線長は100m以下にしてください。
- ・HKは器具側のHKの端子に、LKは器具側のLKの端子に接続してください。

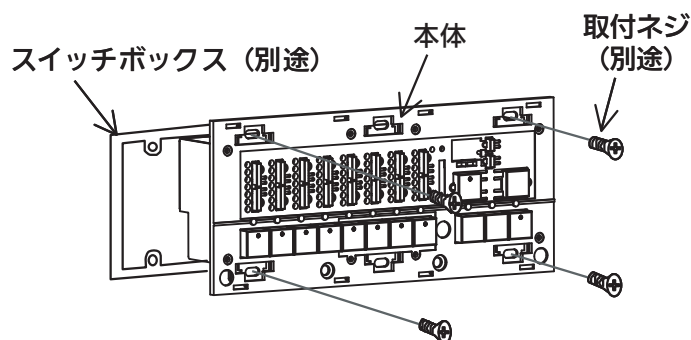
3 伝送信号線を接続する <子器を使用する場合に限ります。>

- ・伝送信号線にはEM-CPEE-S（CPEV-S相当） $\phi 0.9$ または $\phi 1.2 \times 2$ ペアをご使用ください。（剥き代10mm）
- ・伝送信号線の総配線長は50m以下にしてください。
- ・伝送信号線は1台ずつ送り配線（一筆書き配線）で接続してください。（途中で分岐して接続することはできません。）



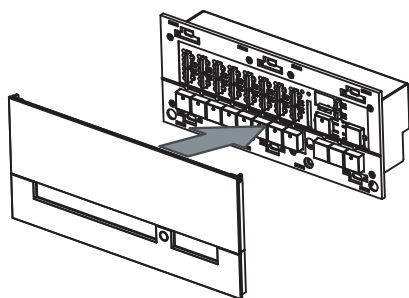
4 本体を取付ける

本体をM4皿ネジ（別途）でスイッチボックスに取付けます。



- ・壁材にメタルラス、ワイヤラスなど金属が含まれる場合はその金属部に触れないように施工してください。
- ・電源線と調色信号線・伝送信号線は必要に応じては絶縁セパレータ（別売WV2450）などで堅ろうな隔壁を設けて絶縁してください。
- ・本器が歪む可能性があるので、取付ネジは必要以上に強く締付けしないでください。

5 化粧カバーを取付ける

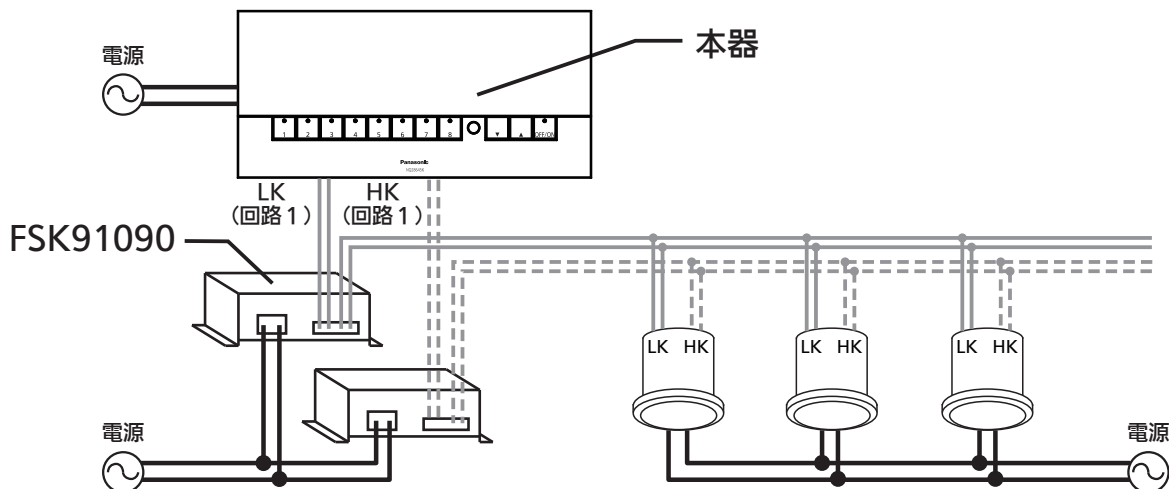


- ・化粧カバーは下側から位置をあわせて取り付けてください。（特に、フェーダーボタン部は化粧カバーと挟まり、ボタンが押せなくなる場合がありますので、位置あわせに気をつけてください。）

Q1

1回路につなげる負荷容量を増やすことはできますか？

●FSK91090を接続することで負荷容量を増やすことができます。



- ・1回路につきLK、HKそれぞれ1台の合計2台のFSK91090が必要です。必ず2台セットで使用してください。
- ・同系列にはFSK91090は1台しか接続できません。（1回路に2台まで）
- ・FSK91090と本器の配線間には照明器具を接続しないでください。
- ・本器、FSK91090、照明器具それぞれに電源が必要です。（ブレーカ容量内であれば同一電源からとっても問題ありません。）

Q2

配線長を伸ばすことはできますか？

●FSK91090を接続することで配線長を伸ばすことができます。
配線長はFSK91090の取扱説明書などでご確認ください。

Q3

調色信号線は分岐することはできますか？

●可能です。

Q4

伝送信号線は分岐することはできますか？

●できません。
伝送信号線は必ず一筆書きになるように配線してください。

故障かな？と思ったら

現象	考えられる原因	処置	参照
本体のLEDが点灯しない	電源が入っていない。	電源を投入してください。	—
	電源線が正常に接続されていない。	電源線を再度結線しなおしてください。	—
	電源線を間違えて調色信号端子または伝送信号端子に接続して電源を入れた。	本器が壊れます。交換してください。	—
OFF/ONボタンが赤色に点滅する	接続されている負荷が容量を超えている。	負荷容量を範囲内にしてください。	P.3
	調色信号線が短絡している。	調色信号線の配線を見直してください。	—
調光・調色ボタンを操作してもあかりが変化しない	調色信号線が接続されていない。	調色信号線を配線してください。	P.4
調色ボタンを操作すると色温度が逆に変化する	調色信号線のHKとLKを逆に接続している。	調色信号線の配線を見直してください。	—
調光・調色ボタンを操作すると別回路のあかりが変化する	調色信号線のHK、LKの片方もしくは両方の接続回路が間違っている。	調色信号線の配線を見直してください。	—
調色ボタンを操作しても低色温度しか変化しない	調色信号線のHKが配線されていない。	調色信号線の配線を見直してください。	—
調色ボタンを操作しても高色温度しか変化しない	調色信号線のLKが配線されていない。	調色信号線の配線を見直してください。	—

※子器との組合せに関しては、子器の取説・施工説をご確認ください。